

脱炭素社会で生き残るためにすべきこと

～温室効果ガス排出量(Scope1,2,3)の算定・把握、削減目標の設定、削減方法に至るまで～

昨今、カーボンニュートラルへ向けた世界的な潮流により、組織のサプライチェーン全体の排出削減が求められるようになり、日本でも大企業のみならず中小企業においても脱炭素に向けた取り組みが必要となってきています。

こうした状況を受け、国際環境技術移転センター(ICETT/アイセット)は、これから自社で脱炭素に取り組もうとしている、また既に取り組み始めている中小企業様が、自社のGHG排出量の把握や削減目標の設定、削減の取り組み等ができるようになることを目的に、脱炭素の取り組みの必要性やその背景から具体的な取り組み方法に至るまでのセミナーを、現地会場及びオンライン配信でのハイブリッド形式でテーマを分けて2日間開催します。ご関心のある方は、是非ご参加ください。

開催概要

開催日時： 1日目：令和4年 1月 28日(金) 13:30～16:30
2日目：令和4年 2月 3日(木) 13:30～16:30

開催形式： 現地会場及びオンライン配信 (Zoom) のハイブリッド開催

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、会場参加、講師の現地講演を中止とし、オンライン形式による実施のみに変更させて頂く場合がございます。

会場： ナゴヤ イノベーターズガレージ (名古屋市) → 詳細は裏面参照

参加費： 無料 ※中小企業以外の組織に所属の方も参加可能、※1日目もしくは2日目のみの参加も可能。

プログラム

【1日目】講師：クライメート・コンサルティング合同会社 代表 白川 泰樹 氏(裏面にプロフィール掲載)

GHG排出量算定に係る背景及び基礎的な排出量算定方法

(1)GHG排出量算定の背景と目的

・温暖化対策、カーボンニュートラルの動向 ・GHG排出量の算定、開示の必要性

(2)排出量算定の基礎

・排出量の基本的な算定方法 ・算定に係る国内外のガイドライン(概要)
・国、自治体、企業等での算定事例

(3)企業による排出量算定

・法令下または自主的な算定・参照すべき算定ガイドライン(詳細) ・算定の範囲、項目等

(4)Scope1～3排出量の算定方法

・Scope1～3排出量の算定方法と事例

(5)Scope1～3排出量の算定に関する演習

※イメージを持つための簡単なもの

【2日目】講師：超え環境ビジネス株式会社 代表取締役 富澤 昌雄 氏(裏面にプロフィール掲載)

国際的イニシアティブも視野に入れた排出削減目標の設定及び具体的な削減取り組み

(1)国際的なイニシアティブ

・SBT、RE100などの国際的なイニシアティブの概要
・国際的なイニシアティブに参加している企業とその目標事例の紹介

(2)カーボンニュートラルに向けた削減対策

・日本全体での削減対策の方向性・省エネ/節電、電力化と再エネ化、クレジットの活用などの組み合わせ
・カーボンニュートラル宣言をしている企業とその取り組み事例の紹介

(3)事前質問への回答及び参加者の関心事項に関する説明

・参加申込の際に、参加者よりご希望、ご質問頂いた内容をいくつかテーマとしてピックアップ

※セミナー終了後、会場参加者には講師との名刺交換・質疑の場を設定致します。

※プログラムは予告なく変更される場合もございますので、予めご了承ください。

セミナー紹介HP：

<https://www.icett.or.jp/chousa/chousa/r3/carbonneutralseminar.html>

セミナー
紹介HP



主催：公益財団法人 国際環境技術移転センター(ICETT)

後援：経済産業省 中部経済産業局(予定)、三重県、四日市市、愛知県(予定)、名古屋市
岐阜県、一般社団法人中部経済連合会、あいちゼロカーボン推進協議会

講師プロフィール

1日目:

クライメート・コンサルティング合同会社 代表 白川 泰樹 氏



1995年に一般財団法人日本気象協会に就職。環境アセスメント、大気汚染対策、地球温暖化対策計画立案、CDMコンサルティング等に携わる。2007年にクライメート・コンサルティング合同会社を設立し、GHG排出削減プロジェクトの立案、GHG排出量/排出削減量の定量化等のコンサルティングを行っている。慶應義塾大学SFC等にて、低炭素社会デザイン等に関する非常勤講師を務めている。

理学修士(地球物理)、農学博士(バイオ燃料)。

2日目:

超え環境ビジネス株式会社 代表取締役 富澤 昌雄 氏



横浜国立大学卒業後、(株)富士総合研究所(現:みずほリサーチ&テクノロジーズ)入社、工学系解析技術シミュレータ開発に従事、日本原子力研究所にて事故時のリスク分析の研究に従事。

1997年以降これまで、地球温暖化対策の制度調査、CO2削減対策に関するコンサルティング、海外におけるCO2削減プロジェクトのリスク分析、再生可能エネルギープロジェクトの発掘・組成・事業性評価、CO2排出権取引、CO2削減量の検証業務等を実施。

現在、超え環境ビジネス(株)代表取締役、(一社)日本能率協会検証審査員。

工学博士(機械工学)、公害防止管理者(水質第二種)取得。

会場のご案内

〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク4F

ナゴヤ イノベーターズガレージ/コラボレーションエリア



交通機関

地下鉄名城線「矢場町駅」下車

6番出口より徒歩5分

地下鉄東山線「栄駅」下車

サカエチカ7番出口より徒歩7分

申込方法

(先着順で受付、定員に達し次第締切)

※定員:会場参加 最大20名、オンライン参加最大450名

受付
フォーム



1日目(1/28)

2日目(2/3)

参加申込:

1日目(1/28): https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_ZjW9pnbHTWa1jiYjbx8k0w

2日目(2/3): https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_7nr1IzVQSQLNEnX-I8BsQ

※両日ご参加頂きます場合には、お手数ですが1日目、2日目それぞれのリンクよりお申込みください。

お問い合わせ先: 公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT/アイセット)

TEL:059-329-3500 担当:尾崎